

令和6年度 校長より ⑦

二日間にわたる球技大会でクラスの団結を図った後に、7月22日(月)には1学期の終業式を迎えました。校長講話では、今年度の大船高校のテーマは、「自立」であること、「自立」とは他人からの支配や援助を受けずに独り立ちすることを再確認したうえで、1学期に行われた生徒会本部役員選挙、白帆祭(文化祭)、部活動の取組みについて振り返りを行いました。どちらの取組みに対しても、生徒たちが自分事として受け止め、自立心を持って立派に取り組んでくれたとのお話をさせていただきました。加えて、部活動などで先生や親の対応に行き過ぎを感じた場合には、高校生として自分たちの意志をしっかりと伝えられるようになってほしいとのお話もさせていただきました。成年年齢18歳となっている今日、教師や親からの過剰な支配や援助を受けることなく、生徒たちが自身の力で健やかに自立していくために、教師や親が求められる姿とはどのようなものか、皆さんと共に一緒に考えて、それを実現していきたいと思っています。

インターハイ本大会の会場は、諫早駅から島原鉄道で4つ目の駅にありました。8月5日(月)は、全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会男子96kg級が開催され、本校ウエイトリフティング部の3年生1名が出場しました。スナッチでは106kgクリーン&ジャックでは130kgを成功させトータルで236kgとなり、見事に8位に入賞しました。インターハイ本大会での8位入賞は、大船高校開校以来のすべての競技においては初めての快挙となります。入学後に始めた競技においてわずか2年余りでこの結果を導いた所以は、大船高校の生徒たちならではの、努力を惜しまずにコツコツと取り組む信条あつてのことであり、その志とこれまでの努力に心より敬意を表したいと思います。

楽曲名は「告白」でした。8月6日(火)に神奈川県高等学校軽音楽コンテストが相模原市民会館で開催され、本校軽音楽部を含む予選を勝ち上がった27組による決戦が行われた結果、本校バンド「シャボン」(3年生女子3名)が見事に奨励賞を受賞しました。こちらも軽音楽部の歴史においてかつてない偉業であり、惜しくも全国大会出場には至りませんでした。この活躍は軽音楽部のみならず本校生徒たちに広く勇気と誇りをもたらしてくれました。軽音楽部の皆さん、誠に有難うございました。今後のさらなる活躍を期待しています。

部活動においても、日頃から生徒たちの取組みを支えてくださる保護者の皆様や応援くださる卒業生の皆様に心より感謝を申し上げます。こうした成果や精神が後進たちに受け継がれていくように、校長として支援してまいります。

令和6年8月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆